

第74回  
ベルリン国際映画祭  
フォーラム部門正式出品

第28回  
釜山国際映画祭  
ドキュメンタリー部門最優秀作品賞受賞

第16回  
高円寺ドキュメンタリー映画祭  
コンペティション部門グランプリ

第12回ディアスポラ映画祭正式出品  
第12回ムジュサゴル映画祭正式出品  
第3回レッドロータスアジア映画祭正式出品  
第31回台湾国際女性映画祭正式出品  
第26回ソウル国際女性映画祭正式出品  
第25回済州女性映画祭正式出品

戦後80年を迎える今こそ、  
耳を傾けたい声がある——

Photo by REVERSE

# よみがえる声

VOICES OF THE SILENCED

監督:朴壽南、朴麻衣(共同監督)

2025年/日本・韓国(合作)/日本語・英語・韓国語/148分/DCP/カラー/16:9/5.1ch

歴史の闇に埋もれながら、なおも響き続ける証言の数々——  
90歳の母から戦後世代の娘へ。ともに歴史の<sup>ひだ</sup>襷に耳を澄ます



パク・スナム

パク・マイ

# 90歳を迎える映画作家・朴壽南と娘の朴麻衣が共同監督 歴史に埋もれる声なき者たちの物語を刻銘に記録したドキュメンタリー

在日朝鮮人2世である映画作家・朴壽南（パク・スナム）は、2025年に90歳を迎える。彼女と娘の朴麻衣（パク・マイ）が共同で監督したドキュメンタリー『よみがえる声』は、約40年前から朴壽南が撮り続けていた16mmフィルムを基に制作された。広島や長崎で原爆被害を受けた朝鮮人、長崎の軍艦島に連行された徴用工、沖縄戦の朝鮮人元軍属、そして日本軍の「慰安婦」にされた女性たちの声なき物語を描き出す。



## よみがえる声

監督・朴壽南、朴麻衣（共同監督）

2025年 / 日本・韓国 / 日本語・英語・韓国語 / 148分 / DCP / カラー / 16:9 / 5.1ch

親子の絆が紡ぐ映像芸術に、国境を越えた称賛の声が響き渡る。

本作は2023年の釜山国際映画祭においてワールドプレミアされ、ドキュメンタリー部門で最優秀賞を受賞。審査委員の原一男監督（『ゆきゆきて、神軍』『水俣曼荼羅』）は「この作品を見た瞬間、ある存在を破壊する力を感じた」と激賞した。さらに、ベルリン国際映画祭では「豊かで脱植民地的なアーカイブ」としてフォーラム部門に正式招待され、ジャン・ルーシュ国際映画祭では「生きている遺産賞」を受賞。2025年2月の高円寺ドキュメンタリー映画祭でもコンペティション部門でグランプリを受賞した。時代の波に飲み込まれた記憶や歴史の事実を丹念に掘り起こし、多くの人々が見過ごしてきた真実に光を当てる。それは単なる過去の記録ではなく、私たちがいま直面する課題とも深く結びついている。



2025年**8月2日**（土）よりポレポレ東中野ほか全国順次公開